

リトミック研究センター 認定教室運営マニュアル



特定非営利活動法人
リトミック研究センター

目次

はじめに

認定教室とは

1. リトミック研究センターの「認定教室」
2. 各種サポート制度
3. リトミック開講コース
4. 教室開設キットについて

リトミック研究センター認定教室の基準

1. 認定教室の基準
2. リトミック・チャイルドクラブについて
3. 教室のスタイル
4. 認定教室の実践例
5. 指導・運営システム

生徒募集について

1. 生徒募集について
2. 生徒募集の方法とツールの使い方
3. 生徒募集計画から体験レッスンまで
4. クラス編成からレッスン開講まで

教室管理システムについて

1. 教室管理システムについて
2. インターフェースで出来ること
3. インターフェース操作方法
4. 教材購入オンラインストア操作方法
5. 教室情報の変更がある場合

日常のレッスンにおいて大切なこと

1. 日常のレッスンにおいて大切なこと
2. 年間の流れ
3. おわりに

体験レッスン例

1. ベビー
2. Step1
3. Step2
4. Step3



はじめに

「リトミックってすばらしい」「リトミックは楽しい」
その想いは、リトミックに関わるすべての方に共通するものではないでしょうか。
リトミック研究センターは、そんな想いを日本全国の子どもたちへ届けたいと願い、
「いつでも、どこでも、だれでも」質の高いリトミック教育を受けられる環境づくりを進めています。

リトミックは、音楽の基礎能力を高めるだけでなく、その活動を通して子どもたちの集中力・表現力・創造性・社会性などを自然に育む教育です。特に音楽講師の皆さんにとっては、これまで培ってきた音楽的知識や指導経験を、子どもの発達段階に即したかたちで最大限に生かせる教育分野といえるでしょう。音楽の力が、子どもたちの心と身体の成長に直結する——その手応えを、日々の指導の中で実感していただけます。

一方で、「リトミック研究センターの認定教室」は、たくさんの子どもたちと音楽遊びを楽しんできた保育士の方や、「子どもが好き」「子育てや家庭での経験を生かしたい」という保護者の方にとっても、大きな可能性をもつ場です。保育や子育てを通して得た気づきや寄り添う力は、幼児教育において何よりの財産です。リトミック研究センターでは、しっかりとした指導者の養成とサポート体制を整え、初めての方でも安心して一歩を踏み出せる環境を用意しています。

認定教室は、単なる習い事の間ではなく、幼児期の大切な学びを担う教育の場です。だからこそ、リトミック研究センターでは「教室認定制度」を設け、一定の基準を満たした環境と指導者による教室づくりを大切にしています。認定後も、研修や情報提供、指導者同士の交流などを通して、継続的なスキルアップと成長を支えています。

「子どもたちの成長を支えることを通して、自分自身も成長していく」
認定教室の開設は、そんな新しい人生のステージへの第一歩です。音楽の専門性を生かしたい方も、保育や家庭で培った経験を社会に役立てたい方も、子どもたちの未来を育む仲間として、私たちは皆さんの挑戦と夢の実現を心から応援しています。

認定教室とは

1. リトミック研究センターの「認定教室」

- ・ 年齢ごとの発達に沿ったカリキュラム・教具セット・クラフトを使用して、楽しく正統的な リトミックレッスンを指導できる
- ・ ご自分が経験されてきた音楽・保育・子育てなどが活かせる
- ・ すでに開講中の教室にリトミックコースを加えることができる
(低年齢の生徒獲得・他教室との差別化・音楽力の底上げが可能)

2. 各種サポート制度

- ・ 教室開設サポート
開設キット、看板、インターフェースなど
- ・ 募集サポート
SNS、HP、チラシ作成、イラスト、パンフレットなど
- ・ 保護者へのサポート
交通障害お見舞い制度、チャイルドクラブ、子育て親塾の受講など
- ・ 講師スキルアップサポート
各種講習会・研修会（月例研修会、教員養成校、特別講習会）の実施にて、指導に役立つ情報を提供

3. リトミック開講コース

リトミック研究センターの「こどものためのリトミック」は、生後6ヶ月の《ベビーのためのリトミック》から始まり、《Step1～Step5》、《小学生のリトミック》へとつながっていきます。認定教室のカリキュラムは、指導書に沿った内容と回数が原則です。

認定教室が全国で同じ基準を大切にすることで、世の中から「この教室なら間違いない」という信頼をいただけます。また、お引越しをされたご家庭が、転居先でも「同じシステムでレッスンを続けられる」ことは、子ども・保護者にとって大きな安心感につながります。

さらに、「こどものためのリトミック」のカリキュラム・教具セットを使用しレッスンを進められるのは、指導資格を取得し、専門的な知識を学んだ指導者会員の皆さまだけです。そのため、教材の一般販売は行っていません。「資格を保有する先生から、認定教室に通う子どもたちだけが受けられるレッスン」という限定感は、教室の大きな魅力となります。

3. 教室開設キットについて

教室認定申請書を提出し、本部の認定を受けると下表の教室開設キットが届きます。

No	品名	詳細
1	教室認定証	
2	認定教室看板	 ステッカータイプ。教室の壁や扉、ガラス面に貼り付けるなど、さまざまな方法でご使用いただけます。アクリルボードに貼り付けられ、持ち運びも可能です。
3	生徒募集チラシ (2000枚)	 裏面はA4サイズの白紙になっています。裏面は、ご自分でデザインをして、自宅のプリンターで印刷可能です。
4	教室と教具のご案内 パンフレット (50部)	 体験会や入会相談、開講時などに保護者へ渡して説明すると理解が深まります。
5	認定教室運営マニュアル	
6	インターフェース・教材購入オンラインストアログインのご案内	

リトミック研究センター認定教室の基準

1. 認定教室の基準

①指導書のカリキュラムに沿ったレッスンができること

リトミック研究センターのレッスンは年齢別に年間40レッスン（内、復習4回）で組み立てられています。

②教具を使ってレッスンができること

教具は、リトミック研究センターの教育内容を実践するために必要不可欠です。また、教具はどなたが指導しても一定のレベルを維持できるように長年の研究・実践の成果を凝縮したものです。全国どの教室も、同じカリキュラム、同じ教具でレッスンが行われていることは、リトミック研究センターの信用、保護者の安心・信頼において大切です。



③生徒全員が「チャイルドクラブ」に登録し、保護者向けの情報提供ができること

リトミックのレッスンは、説明なしには、その目的、効果がわかりにくいものです。レッスンの
たび、保護者とのコミュニケーションは重要ですが、一人ひとりの保護者とは十分な時間が取れ
ません。「リトミックのすばらしさ」を、文字でわかりやすく伝えるWeb機関誌『りとみっくの
ひろば』は、保護者に必要な教育的情報を提供します。2ヶ月に1度、奇数月の初めに配信され
るWeb機関誌は、「こどものためのリトミック」のレッスンに役立つものです。

また、「クラフト」は季節感あふれる題材をつかって、子どもたちの指先の感覚をはぐくみながら、作り上げることのよろこびを親子で味わうことにその目的があります。

※Web機関誌はリトミック・チャイルドクラブ会員にのみ配信されます。

また、リトミック・チャイルドクラブ会員には、教室の行き帰りの交通事故やレッスン中の怪我に対して、お見舞金が出給されます。さらに、リトミック・チャイルドクラブ会費は、リトミック研究センターの教育研究・開発や組織を支える重要な原資となっています。リトミック研究センターは、リトミック・チャイルドクラブ会員、指導者会員、支局の皆が支える、皆の組織なのです。

2. チャイルドクラブについて

- ・Web機関誌『りとみっくのひろば』（隔月刊）は、《リトミックラボ》から配信
保護者にインターフェースからチャイルドクラブ会員登録をしていただきます。登録後、
配信のお知らせがメールで届きます。
- ・『交通傷害お見舞い制度』の適用
レッスンの行き帰りの交通事故、レッスン中の怪我に対しお見舞金が支払われます。
手続きの詳細は、《インターフェース》の[申請書・ダウンロード資料]にご案内が掲載され
ています。
- ・『会員カード』の発行
会員証としてだけでなく、レッスン出席時にもらえるかわいい『出席シール』をはる台紙にも
なります。

3. 教室のスタイル

教室のスタイルは、自宅教室、マンション・スタジオ賃借、園での課外レッスンなど、開設する
立地条件や環境によって異なります。親子が安心、安全に通えるよう環境を整えましょう。

教室環境整備のポイント



No	ポイント	詳細
1	立地条件	自宅、園内、マンション・スタジオ賃借、公民館、 貸しスタジオ、バレエ教室など 駅からの利便性 駐車場、自転車置き場の有無など
2	教室の環境	清潔で楽しい雰囲気 観葉植物、ぬいぐるみなども効果的です。
3	教室の広さ	子どもと保護者、講師と一緒に活動できるスペース。 10畳～20畳程度が目安。(1組1畳半)
4	教室設備、教具の完備	鍵盤楽器の有無、教具の寄託など 打楽器類(鈴、トライアングル、タンブリン 各1)、 教具整理棚、生徒用作業机(4人掛け用)、生徒用イス(グ ループ人数分)、保護者用イス(グループ人数分) 教室運営者ページで購入できる教具は別表(p.8)をご 確認ください。
5	安心、安全	子どもたちに危険がないように、動物アレルギー・ 誤飲・ドアの開閉や家具などへの配慮をしましょう。

(別表) 教室購入オンラインサイトから購入できる教具

※金額はいずれも税別の定価です。認定教室は定価の10%引きで購入でき、保護者は定価でご購入いただきます。

	商品		定価	商品		定価
教具 セ ッ ト	ベビー	ベビー教具前期セット	2,400	小学生	リトミック ソルフェージュ 2	800
		ベビー教具後期セット	2,400		リトミック ソルフェージュ 3	800
	Step 1	リトミックセット（１）	4,500		リトミック ソルフェージュ 4	800
	Step 2	リトミックセット（２）	6,500		リトミック ソルフェージュ 5	800
		新カラーボード（１組４色）	900		カラーボード大（１組４色）	900
	Step 3	リトミックセット（３）	6,500	ピアノ 指導用	リトミックバイエル（上）	1,200
		スティック（１組２本）	600		リトミックバイエル（下）	1,200
		新カラーボード（１組４色）	900		リズム積み木（A）	5,500
	Step 4	リトミックセット（４）	7,500		書籍	リズム積み木（B）
		ウッドブロック	2,500	リトミックってなあに		1,500
		スティック（１組２本）	600	こどもがグングン伸びる音楽あそび		1,200
		新カラーボード（１組４色）	900			
	Step 5	リトミックセット（５）	7,500			
		スティック（１組２本）	600			
		新カラーボード（１組４色）	900			
		リトミック ソルフェージュ 1	800			
教室 用 教 具	レッスンバッグ		1,000	リズムカード（２拍子）		250
	おはじき（４個）		160	リズムカード（３拍子）		250
	動物音符カード（３組）		500	フラフープ（赤色）		1,350
	スカーフ（５枚入り）		1,500	フラフープ（白色）		1,350
	カラーボード大（１組４色）		900	フラフープ（青色）		1,350
	３色積み木（３色×６＝計１８コ）		3,400	フラフープ（黄色）		1,350
	くまさんのおくち		600	リズム積み木（A）		4,950
				リズム積み木（B）		4,950
生徒 募 集 用 宣 伝 材 料	A４チラシ（１セット２００枚）		800	ジグソーパズル（１２ピース）		120
	教室のご案内パンフレット		1,500	貼ってはがせるお子さまランチシール		220
	ご案内カード（１セット５０枚）		300	ロゴ入りクリアファイル		750
	ハガキサイズのご案内カード（１セット３０枚）		330	オリジナルキャラクターファイル（イエロー）		1,500
	じゅうがちょう		150	オリジナルキャラクターファイル（ブルー）		1,500

2026年4月時点

4. 認定教室の実践例

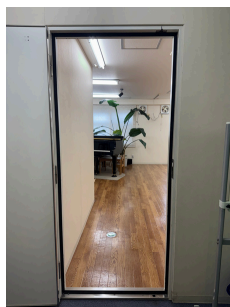
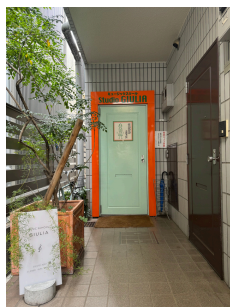
〈自宅教室〉

玄関は、生徒が出入りしやすく、バギーや自転車を置くスペースをとっています。教室内は、活動中に危険がないように家具やピアノを配置し、子どもの目線の高さに教具を置かないように配慮しています。



〈マンション賃借している教室〉

マンションで認定教室を運営する場合は、不特定多数の生徒が出入りすることに対して、承諾が必要です。特に、音漏れと振動が響き渡らないように、天井・壁・床に防音の設置と窓を二重サッシにするなど配慮が必要です。



〈スタジオ賃借している教室〉

スタジオを賃借して認定教室を運営する場合は、まず、年間のレッスン回数を予約できるかを確認します。曜日違いでリトミック以外の教室運営をしていますので、教具や電子ピアノの置き場所があるのかを確認するとよいです。

認定教室看板を常に出しておくことができない点がありますが、「スタジオ」としては認知度が高い可能性があります。



〈園の課外教室〉

園のお部屋やホールで認定教室を運営する場合は、教具棚や机などは端に寄せて、活動中に危険がないように準備をします。園内の教具をお借りする場合は、事前にお借りしたことを担当者に伝えておくといいです。園に通っている生徒が移動することなく、リトミックのレッスンができるのは保護者にとっては利点です。



5. 指導・運営システム

◎全国統一基準のもの

No	内容	詳細
1	対象年齢 (基本は学齢)	●ベビー (0歳児) ●Step 1 (1歳児) ●Step 2 (2歳児) ●Step 3 (3歳児) ●Step 4 (4歳児) ●Step 5 (5歳児) ●小学生のリトミック
2	レッスン回数	ベビー：年間36回 Step 1以上：年間40回（復習4回を含む） (インターフェース「申請書・ダウンロード資料」に掲載しているレッスンカレンダーを参考にしてください。)
3	チャイルドクラブ会費	600円(税別)/月 生徒は全員『チャイルドクラブ』への会員登録が必要です。
4	休みの扱い	事前に生徒が届け出て1ヶ月全レッスンを休んだ場合、月謝は半額徴収。それ以外の費用は全額徴収。
5	補講の扱い	原則として、台風、交通ストなどで正常な教室運営ができない場合は補講なし。講師の病気など教室の都合で休講した場合は補講します。

○教室管轄支局とご相談のうえ、決定するもの

No	内容	詳細
1	開講時期	春季は4(5)月、秋季は10(11)月
2	レッスン形態	グループ(8人まで)・・・出入りと連絡事項を含め60分 個人・・・30分
3	月謝	参考価格・・・各コースとも6,000円～/月(税別・会費別)

○教室の判断にゆだねられるもの

No	内容	詳細																								
1	レッスン曜日	両親が育児休暇中は平日のレッスンを希望し、復職が決まると土日クラスに移動を希望する傾向があります。																								
2	時間割	生活スタイルが多様化しているためクラス編成も曜日によって異なります。 例) <table><tr><td>月曜日</td><td>ベビー 10:00～</td><td>Step 1 11:00～</td><td>Step 3 15:30～</td><td></td></tr><tr><td>火曜日</td><td>Step 1 10:00～</td><td>ベビー 15:00～</td><td>Step 4 16:00～</td><td></td></tr><tr><td>水曜日</td><td>Step 2 10:00～</td><td>ベビー 11:00～</td><td>Step 5 16:00～</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">土曜日</td><td>Step 1 8:30～</td><td>ベビー 9:30～</td><td>Step 2 10:30～</td><td>Step 3 11:30～</td></tr><tr><td>Step 4 13:30～</td><td>Step 5 14:30～</td><td>小学生 15:30～</td><td></td></tr></table>	月曜日	ベビー 10:00～	Step 1 11:00～	Step 3 15:30～		火曜日	Step 1 10:00～	ベビー 15:00～	Step 4 16:00～		水曜日	Step 2 10:00～	ベビー 11:00～	Step 5 16:00～		土曜日	Step 1 8:30～	ベビー 9:30～	Step 2 10:30～	Step 3 11:30～	Step 4 13:30～	Step 5 14:30～	小学生 15:30～	
月曜日	ベビー 10:00～	Step 1 11:00～	Step 3 15:30～																							
火曜日	Step 1 10:00～	ベビー 15:00～	Step 4 16:00～																							
水曜日	Step 2 10:00～	ベビー 11:00～	Step 5 16:00～																							
土曜日	Step 1 8:30～	ベビー 9:30～	Step 2 10:30～	Step 3 11:30～																						
	Step 4 13:30～	Step 5 14:30～	小学生 15:30～																							
3	入会金	参考価格・・・3,000～5,000円(税別) ※他認定教室からの転室の場合、入会金はいただきません																								
4	月謝の受領時期	毎月、最後のレッスン日に翌月分の月謝などを受領します。《認定教室専用インターフェース》を使用して、月謝・チャイルドクラブ会費の口座振替(各種金融機関)サービスを低価格で利用できます。																								

生徒募集について

1. 生徒募集について

生徒募集で大切なことは「教室の存在を知ってもらうこと」です。

募集対象年齢の子どもを持つ保護者の気持ちになって“どうしたら、教室があることに気づいてもらえるか”を考えて募集をすることがポイントです。

0～2歳児の保護者は両手がふさがる
場合がある

→ベビーカー置き場や駐車場の確保



教室に電話問い合わせをする前に、費用、
内容、先生などを調べる傾向がある

→HPやチラシなどの情報の充実



0～2歳児の保護者はどのようなところに出入りするか

→保育園、支援センター、近隣の教室、ショッピングモールなど
どこから情報を得ているか

→公園、遊び場、他教室で知り合った方、SNSの口コミ

2. 生徒募集の方法とツールの使い方

【認定教室看板】

認定教室開設キットに同梱しています。ステッカータイプのため、教室の壁や扉、ガラス面に貼り付けていただくほか、マグネットシートに貼り付けたり、吊り下げできるボードに貼り付けて持ち運び可能にしたりと、さまざまな方法でご使用いただけます。



【チラシ・DM】

「家から通える場所に教室がある」ことを知ってもらうために、「A4チラシ」や「ハガキサイズのご案内カード」のポスティングも有効です。教室の前や借りているスタジオ、地域センター、病院、スーパーなど、置いてもらえる場所がある場合は積極的に活用しましょう。



【教室ホームページ】

レッスンの様子や先生の雰囲気、教室詳細をホームページで確認後、体験レッスン受付フォームから申し込みをするルートが一般的です。その後もメールでのやり取りを好まれ、体験レッスン当日に初めてお話しするのが最近の傾向です。SNSだけでなく、教室詳細がわかるようにご自身でホームページを開設しましょう。

ホームページには、レッスンの内容、講師紹介、費用（月謝・教材費）、教室の場所（地図）、レッスン曜日・時間、対象年齢、お問い合わせフォームなどを見やすく記載しましょう。

体験レッスン受付フォームは、最低限の情報入力（子どもの名前、保護者名、子どもの生年月日、連絡が取れる電話番号、メールアドレス、郵便番号）にとどめることがポイントです。

（参考サイト）リトミック研究センター教員養成東京校付属リトミック教室

<https://eurhythemics-japan.com/>



教員養成東京校付属
リトミック教室HP

【教室検索ページ】

認定教室は、リトミック研究センターHP「認定教室検索ページ」に掲載されます。

<https://www.eurhythemics.or.jp/search/search.html>



認定教室検索ページ

リトミック研究センター教員養成東京校 付属リトミック教室

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-8グランド千駄ヶ谷1F
●JR中央 有明線「千駄ヶ谷」徒歩2分（「千駄ヶ谷」まではJR「有明」から2駅4分）
●JR山手線「国立競技場」徒歩3分
●JR山手線「国立競技場」徒歩3分
●JR山手線「国立競技場」徒歩3分
●JR山手線「国立競技場」徒歩3分
※近隣に有明線有明駅あり
電話：03-5786-0095
email: headquarter@eurhythemics.or.jp

Googleマップで見る

① 開講中のコース

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小学生
○	○	○	○	○	○	○

② 【2022年4月オープン！】
JR千駄ヶ谷駅から徒歩2分。ぜひぜひ、リトミック教室専用アプリでオープンしました。

【体験レッスンを実施しています】
※詳細は、教室ホームページでもご案内しております。
※お問い合わせ・お申し込みフォームもご用意しています。
お気軽にお問い合わせください。

③ 教室のHPはこちら

←掲載情報チェックポイント

- ①開講中・募集中のクラスに○印
- ②「随時募集中」などのコメントや、体験レッスンのご案内
- ③教室ホームページのリンク

「認定教室検索ページ」は、常に多くの方にご覧いただいています。特に、年度切り替えの際には最新の情報になっているか、URLのリンクが有効になっているかなどを確認しましょう。

変更がある場合は「インターフェース」内「申請書・ダウンロード資料」の「チャイルドクラブ会員人数報告・ホームページ掲載情報更新」から申請をお願いいたします。

【SNS】

近年、さまざまな情報収集にSNS（Instagram、LINE、Facebook、Xなど）が使われており、保護者が習い事を探す方法としても有効です。



Instagram

特に、Instagramは写真・動画でレッスンの様子が分かりやすく、リトミック教室の募集活動に活用いただけます。

●プロフィール欄の設定

Instagramの特徴として、投稿文にURLのリンクを貼っても、そこからアクセスすることができません。投稿を見た方をプロフィールに誘導し、そこから教室のホームページにアクセスしていただきます。アカウントのプロフィール欄には、任意でWebページのリンクを5つまで設定ができます。教室のホームページは勿論、リトミック研究センターのホームページやリトラボを設定し、興味を持ってくれた方がアクセスできるようにしましょう。

●投稿内容（保護者が知りたい内容）

- ・教室の雰囲気
- ・先生や子どもたちの雰囲気
- ・募集中のクラス（曜日、時間、対象年齢）
- ・体験レッスンの日時
- ・お問い合わせ方法（電話、HP、問い合わせフォーム、メール、DM、LINEなど）

●ハッシュタグについて

投稿の際には、関連するキーワードの頭に半角の「#」をつけた「ハッシュタグ」をつけて投稿をしましょう。例えば、「#リトミック研究センター認定教室」と文章に入れておくと、保護者がハッシュタグで検索をする際に表示されます。リトミック教室であることや、地域名など検索しやすいキーワードを設定しましょう。

【ハッシュタグの例】

「#リトミック研究センター」「#リトミック研究センター認定教室」
「#リトミック」「#rythmique」「#こどものためのリトミック」
「#習い事」「#教育」「#音楽教室」「#〇〇県」「#〇〇市」 など

●リポストを活用しましょう

リトミック研究センター公式Instagramの投稿では、子どもたちのレッスン動画や、リトミック教育についてなど、さまざまな情報をお届けしています。教室での撮影・投稿が難しい場合は、リトミック研究センターの投稿を「リポスト」すると簡単に同じ写真の投稿が可能です。

※本部アカウントをはじめ、Instagramに投稿されている画像をスクリーンショットして投稿することは、ソーシャルメディアポリシーに抵触します。投稿を共有する際には「リポスト」をご利用ください。

（参考アカウント）リトミック研究センター教員養成東京校附属リトミック教室
https://www.instagram.com/eurhythmics_school_kids_japan/



Instagramアカウント



LINE公式アカウント

LINE公式アカウントでは、友だち登録をした方とメッセージのやり取りが可能です。ご案内をどなたに送るかを設定が出来るので、個別に体験レッスンのご案内やお問い合わせの対応、さらには、通っている生徒さんへの一斉連絡ツールとしてもお使いいただけます。HPやSNS、チラシなどに友だち登録のURLまたはQRコードを掲載しておくことで、保護者がスムーズに友だち登録を行えますので、ぜひご活用ください。

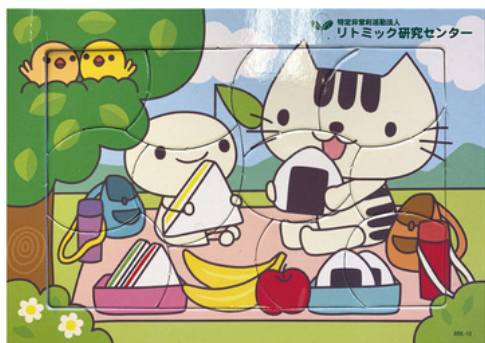
【LINE公式アカウント運用申請方法】

- ①「インターフェース」内「申請書・ダウンロード資料」の「チャイルドクラブ会員報告・ホームページ掲載情報更新」にアクセス
- ②必要事項を入力し「LINE@公式アカウント運用希望」にチェック
- ③送信

本部での手続きが完了しましたら、指定のアドレス宛に「メール」でご案内が届きます。ご案内本文のURLからLINEアカウントの手続きをお願いします。
※利用方法の詳細は「LINE公式アカウント」でご検索ください。

【生徒募集ツール】

認定教室の存在が一目でわかる「のぼり」や、体験レッスンの記念品などにご活用いただけるシール、パズル、じゅうがちょう、キャラクターファイルなどもご購入いただけます。



※年間2回開催の「生徒募集キャンペーン」でのお買い求めがお得です。

3. 生徒募集計画から体験レッスンまで

①目標を立てる

”いつまでに何人集めるか”明確な目標があると、どのような取り組みが必要か考えやすくなります。

何人生徒を集めたいの？

認定教室によってレッスン室の広さも開講日数も異なります。

目標人数を決めて募集・体験レッスンの計画をしましょう。

- ① 1週間に何日レッスンしますか？
- ② 1日何クラスですか？（Stepによって午前・午後が決まります）
- ③ 1クラス何人ですか？
- ④ Stepごとの合計人数は何人ですか？

↓

上記の人数が決まると、体験レッスンの回数が決まります。

開講日からさかのぼって計画しましょう。

- ① 初回レッスン日に教具セットを渡します。
- ② 1週間前までに教具を注文します。
- ③ 教具を発注するまでに保護者から入会連絡をいただきます。
- ④ 体験レッスンの回数によって、何月から体験レッスンを開始するかを決めます。
- ⑤ 体験レッスンの告知開始時期を決めます。
- ⑥ 募集ツールの作成（チラシ・SNSなど）

計画通りに進まないこともあります。くじけずに生徒募集を継続することが大切です。

②周知活動

まずは、「リトミック教室がある」ことを知ってもらうことが重要です。

体験レッスンの開催日程を決めて、早速告知の準備をしていきます。



A4チラシの裏面に体験レッスンの案内を掲載してポスティング



教室前のラックに掲示



SNSでの告知

③問い合わせ

保護者がすぐに体験レッスンの申し込みや問い合わせができるよう、分かりやすい導線を作りましょう。チラシのQRコードやInstagramのプロフィール欄から教室のホームページにアクセスが出来るようにいでしょう。レッスン中で電話に出られない場合は、折り返しの案内をする旨を掲載しておく丁寧です。

◆体験レッスン受付のワンポイントアドバイス

入力する項数を極力減らして、申し込みを簡単に30秒くらいでできるようにしましょう。

第一段階：受付 メール or 電話 or フォーム

- 子どもの名前（ひらがな）
- 子どもの生年月日
- 付き添う保護者名（ひらがな）
- 電話番号
- メールアドレス
- 郵便番号（どこの地域なのかがわかればOK）



第二段階：当日 「体験レッスンアンケート用紙」にて

- 子どもの名前（漢字）
- 保護者の名前（漢字）
- 住所

※「体験レッスン・お問合せ受付簿」をExcelで作成し、入会に至らなかった方には、体験レッスン会、イベント、発表会などの案内をメールで送付するとよいです。

④安心してお越しいただくために

ベビー、Step 1 の子どもたちは、リトミックが「はじめての習い事」の方も多いはずです。お問い合わせいただいた際に、教室へのアクセスや駐車場の有無、服装、持ち物、当日の流れをご案内したり、今の時点で不安なことや疑問点がないかを伺ったりと保護者が安心してお越しいただけるような配慮が必要です。

⑤体験レッスン当日・後日フォロー

体験レッスン終了後、スムーズに教室のご案内ができるよう、教室パンフレットやレッスン日程、入会金・月謝の支払い方法などの資料を用意して、ご説明できる準備をしておきましょう。また、チャイルドクラブ会員登録には認定教室インターフェース「入会手続きのご案内」が必要ですので、併せて準備をお願いします。

即日、入会に繋がらなかった場合でも、後日、改めてクラスの空き状況のご連絡、検討された結果（差し支えなければその理由）、質問がないかをお伺いしましょう。どのようにして入会につながったのか、もしくはつながらなかったのかが分かると、次回の生徒募集にも活かれます。

3. クラス編成からレッスン開講まで

・クラス組み

開講したクラスの人数が1組になる場合があります。「こどものためのリトミック」は、その教育効果が最大限に発揮されるよう【グループレッスン】で行われます。それでも、このような諸事情で【個人レッスン】になってしまう状況もあります。まずは保護者に、お友だちを誘っていただけるかお声をかけ、それでも難しい場合は、ご本人の了解を得て、1人からレッスンをスタートしましょう。冊子「こどものためのリトミック～ひとりからのクラス作り～」(※1)を参考にレッスンを組み立てていくことができます。

また、クラスが定員を超えたら、新しいクラスを開講しましょう。

※1 「こどものためのリトミック～ひとりからのクラス作り～」の研修受講に関しては、所属支局へお問い合わせください。

教室管理システムについて

1. 教室管理システムについて

リトミック研究センターでは、「こどものためのリトミック認定教室専用インターフェース」を利用して、チャイルドクラブ会員の個人情報保護法への対応（用紙による管理撤廃→安全なデータ管理）および、キャッシュレスの導入、認定教室の事務工数やコストの削減を実現し、安全に管理・運用できるシステムを導入しています。

また、インターフェースの「メニュー画面」から「教材購入オンラインストア」や、「申請書・資料ダウンロード」ページもご覧いただけます。

ログイン方法

下記のURLまたはリトミック研究センターのホームページよりアクセスしてください。

<https://eurhythmic-classadministration.com/app/>



インターフェース
ログイン画面

①リトミック研究センターホームページ



②インターフェースログインページ



ホームページ下部の
「教室運営者の方」
ボタンをクリックし
ます。

教室番号・パスワードを
入力し、インターフェース
にログインします。

③インターフェース「メニュー画面」

※サイトのアップデートによりレイアウト等が変わる場合があります。



ECサイトでの教材注文は「教材購入オンラインストア」を選択します。

教室変更申請や、レッスンカレンダー、イラストデータなどは「申請書・資料ダウンロード」からご利用ください。

2. インターフェースで出来ること

①毎月のチャイルドクラブ会員数の集計報告が自動的に行われます。

チャイルドクラブ会員が登録された内容に基づき、毎月自動で集計されます。

※その他のコース（ピアノなど）の登録・管理も可能で、認定教室の一括管理が可能です。

※その他のコース（ピアノなど）の個人情報は、本部・支局では管理・閲覧できません。

②口座振替の利用で、請求書の支払い手続きを不要にすることが出来ます。

月謝（+会費）の口座振替（各種金融機関）サービスを低価格で利用できます。

チャイルドクラブ会員は、1件50円（税別）。その他の生徒は、1件150円（税別）で利用できます。引き落とされた月謝から、チャイルドクラブ会費が自動的にリトミック研究センターへ振り替えられます。※振替口座（ゆうちょ銀行）の登録が必要です。

③子育て親塾の受講推進に対して、手数料が支払われます（認定教室の収入になります）。

教室の保護者が『子育て親塾』を受講した場合に、認定教室に手数料が支払われます。

※振替口座（ゆうちょ銀行）の登録が必要です。

3. インターフェース操作方法

【チャイルドクラブWeb登録】

- ・ 当月の登録内容がデータ集計され「チャイルドクラブ人数報告」となる仕組みです。
- ・ 個人情報保護法に準拠するため、保護者ご本人からの登録をお願いいたします。
- ・ 別紙＜「こどものためのリトミック認定教室」インターフェースのご案内＞を参照の上、ログインしてください。⇒下のトップ画面が表示されます。（画像の表示例はスマホです）



最初はお教室の「設定」から！

⇒① [コース管理]

⇒② [入会手続きのご案内]

⇒③ [申込者情報]

⇒④ [生徒情報]

⇒⑤ [請求一覧]

の順で作業してください。

次の項から説明を進めます。

1. 【設定】・・・教室の内容を登録ください。

こちらからの入金や、誤入金等による返金にも対応できるよう、お教室の「口座登録」をお願いいたします。※ゆうちょ銀行口座のみ対応となります。

ご返金等の振り込み先として、「ゆうちょ銀行口座番号」を入力してください。

例) 00130-2-0014494
※リトミック研究センターからの返金先として利用します。
※下にある、「口座振替を利用する」にすることで振替口座として利用できます。

前項で入力いただいた「ゆうちょ銀行口座番号」の加入者名を入力してください。

口座振替設定
☐ 口座振替を利用する
[メールで口座振替申込書の郵送を依頼する](#)

メールアドレス設定
orikoumomokun@yahoo.co.jp

パスワード設定
新しいパスワード

- 教室の「ゆうちょ口座登録」
- 登録いただいた口座を口座振替に利用される場合は、☒を入れるとご利用いただけます。
- 「メールアドレス」
ご登録いただいたメールアドレスへキャンペーンや新サービスなど有益な情報をお送りいたします。
- 「パスワード」
ご自身の分かりやすいもの、他から分からないものを設定してください。

2. 【コース管理】・・・コースを設定しましょう。

※「リトミック（ベビー～その他小学生）」「子育て親塾」は最初から設定済です。

※「リトミック（ベビー～その他小学生）」の登録が人数報告に反映されます。

・その他のコース（ピアノなど）も任意で追加設定できます。

※その他のコース（ピアノなど）の個人情報は、本部・支局は収集・表示いたしません。

（新規登録）は「リトミック」や「子育て親塾」以外のコースも登録できるので、教室全体を管理することができます。

リトミック研究センター

コース管理

新規登録

コース種類	コースコード	コース名	
リトミック	R000	ベビー	コース詳細
リトミック	R001	Step1	コース詳細
リトミック	R002	Step2	コース詳細
リトミック	R003	Step3	コース詳細
リトミック	R004	Step4	コース詳細
リトミック	R005	Step5	コース詳細
リトミック	R006	その他小学生以上	コース詳細
子育て親塾	K000	基礎コース	コース詳細

リトミック研究センター

コース詳細

コース種類
リトミック

コースコード
A000

コース名
ベビークラス (0歳児)

受講料 (税・会費込)
1000

有効
有効

登録

- コース種類「リトミック」は、チャイルドクラブ会費を含んだ金額を受講料に設定してください。このコース種類の登録人数が会員数としてカウントされます。
- 設定した受講料が標準設定となります。後述の【請求一覧】で個別に変更が可能です。
- 有効設定は、無効にするとそのコースが表示されなくなります。

〔コース詳細〕より月謝額を設定してください。

※チャイルドクラブ会費は合算してください。

3. 【入会手続きのご案内】・・・生徒（保護者）へ登録していただきます。

トップページ（最初の画面）から、【入会手続きのご案内】を選択すると、下記のページが表示されます。

テスト教室001
入会手続きのご案内

ご受講いただく皆さまへ
この度は、テスト教室001へお申し込みいただきましてありがとうございます。
当教室のご受講に際しまして、下記のURL（QRコード）より、入会お申し込み（受講者情報登録）手続きをお願いいたします。



<https://eurhythmic-classadministration.com/app/entry/1>

[個人情報取り扱いについて](#)

以上 大変お手数をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

テスト教室001

以下のいずれかの方法で、保護者（生徒）へご案内ください。

- iPhone、スマートフォンで表示してQRコードを読み取っていただく。
- 画面（URL）を保護者のメールアドレスに送信する。
- ページの内容をWordなどにコピーしてプリントアウトする。

「リトミックチャイルドクラブ登録申込」画面（保護者用）

郵便番号（数字のみ）
都道府県・市区町村
町名番地
建物名・部屋番号等
電話番号
メールアドレス

受講者の登録

☐ リトミック利用規約に同意する（リトミックを受講される方は必須）
☐ 子育て親塾利用規約に同意する（子育て親塾を受講される方は必須）
☐ 個人情報利用規約に同意する（必須）

- 保護者（申し込み者）の登録内容を入力いただきます。
- 受講者（実際の生徒）の登録内容を入力いただきます。

送信 を押すと

- チャイルドクラブWeb登録が完了し、「ご本人」と「お教室」に登録された内容のサンクスメールが届きます。

★Web版《りとみっくのひろば》をご覧ください

サンクスメールにID&Passとログイン（※）情報を記載いたします。
※閲覧には、登録確認のため、登録から約「5営業日」かかります。

4. 【生徒情報】・・・生徒（受講者）の登録内容を確認しましょう。

3. の登録専用フォームよりご登録いただいた内容が反映されます。

申込者番号	氏名	電話番号	
0001-001-00006	相田 一郎 あいだ いちろう	09012345678	申込者詳細
0001-001-00007	小泉 一郎 こいずみ いちろう	0312345678	申込者詳細
0001-001-00015	田中 一郎 たなか いちろう	090	申込者詳細
0001-001-00016	小林 太郎 こばやし たろう	07012345678	申込者詳細
0001-001-00017	佐藤 一郎 さとう いちろう	09012341234	申込者詳細
0001-001-00018	山田 太郎 やまだ たろう	09098765432	申込者詳細
0001-001-00019	中田 太郎 なかた たろう	09022223333	申込者詳細
0001-001-00020	小泉 太郎 こいずみ たろう	090	申込者詳細

- 「申込者情報」
申込者（保護者）や口座振替する場合の口座の名義人です。
- 「申込者詳細」
申込者（保護者）に関連する、連絡先や住所の他、[生徒] の一覧が表示されます。→ご兄弟、ご家族などの場合は複数名表示です。
[生徒] の右にある [生徒詳細] から、次の内容に進むことも出来ます。

相田 太郎

かな氏名
あいだ たろう

性別
男

生年月日
2023/02/01

リトミック
受講コース
ステップ2 (2歳児)

曜日
月

時間帯
午前10時

☒ 口座振替を利用する

受講開始日
2024/04/02

受講終了日
2024/05/01

受講終了日の前月7日までに入力しないと翌月度の請求対象となってしまいますのでご注意ください。

- 「生徒情報」
生徒（受講者）に関連する [受講コース] などの情報が表示されます。受講の曜日、時間を入力して、クラス管理ができます。
- [口座振替]
口座振替を利用する場合は、こちらから、個別に選択することが出来ます。
- [受講開始日] [受講終了日]
リトミックコース受講の場合は、会費納入の起算日となります。
退会の場合は、必ず「受講終了日」を入力してください。退会月の次月にかかってしまうので、在籍対象者となります。

5. 【チャイルド登録数の算出】・・・自動的に算出されます。

前項4. までの内容で、[リトミックコース] に在籍の方が対象です。

当月中に月末までに在籍した人数を翌月1日に算出します。

この算出された人数分の会費が、請求されます。

6. 【請求一覧】・・・生徒さんへの請求一覧・合計を確認できます。

コース登録で入力した金額が「請求金額」に反映されます。

10件表示

申込者番号	申込者氏名	生徒番号	生徒氏名	受講コース	請求金額	請求更新・確認日	
0001-001-00030	小泉	02	花子	ステップ1 (1歳児)	1,100円		請求詳細
0001-001-00045	中村 太郎	01	中村 花子	ステップ1 (1歳児)	1,100円		請求詳細
0001-001-00047	鈴木浩一20	01	鈴木子ども	ステップ1 (1歳児)	1,100円	2024-06-03 11:44:08	請求詳細
0001-001-00049	神田 太郎	02	神田 一郎	ステップ1 (1歳児)	1,100円		請求詳細
0001-001-00055	村上 太郎	02	村上 花子	ステップ1 (1歳児)	1,100円		請求詳細
0001-001-00017	佐藤 一郎	02	佐藤 花子	ステップ2 (2歳児)	1,300円	2024-06-03 11:41:51	請求詳細
0001-001-00017	佐藤 一郎	03	佐藤 明日香	ステップ2 (2歳児)	1,300円	2024-06-03 11:41:51	請求詳細
0001-001-00019	中田 太郎	01	中田 一郎	ステップ2 (2歳児)	1,300円		請求詳細
0001-001-00020	小泉 太郎	01	小泉 一郎	ステップ2 (2歳児)	1,300円		請求詳細
0001-001-00026	小泉	01	太郎	ステップ2 (2歳児)	1,300円		請求詳細
小計: 160,300円							

79 件中 11 から 20 まで表示

先頭前12345...8次最終

7. 【請求詳細】・・・金額の細かい設定や確認が出来ます。

【請求一覧】の右にある「請求詳細」より、修正・確認ができます。

口座振替の有無や、全休などによる月謝の修正が可能です。

「スポット」は、入会金・教材費など一時的にご利用ください。

生徒番号	生徒氏名	受講コース	口座振替	受講料 (税・会費込)	スポット (単位)
01	相田 太郎	親塾 (1歳児) 2024-04-02~	☐	4200	0
01	相田 太郎	オルガン 2024-01-01~		3000	0
01	相田 太郎	中国語 2024-06-01~2025-06-01		6000	0
02	相田 花子	ステップ3 (3歳児) 2024-05-01~		6000	0
02	相田 花子	オルガン 2024-02-02~	☐	6000	0
02	相田 花子	中国語 2024-01-01~	☐	3000	0

はじめの推進Point



- チャイルドクラブ会員にWeb登録をお願いいたします。
→Web版「くりとみっくのひろば」を閲覧いただけるようになります。
- 「コース」や「生徒情報」などをご確認のうえ、必要に応じて画面から修正ください。
→ピアノなどの生徒も登録・管理できます。

4. 教材購入オンラインストア操作方法

【ログイン方法】



●ログイン

アカウントID（教室番号・ハイフンなし）・パスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。

※「パスワードを記憶する」にチェックを入れることで、次回ログイン時のIDとパスワードの入力を省略できます。

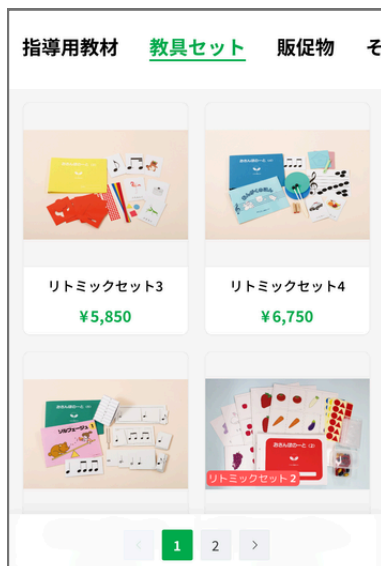


●ログアウト

①右上葉っぱのアイコンをクリックします。

②メニューバーの「ログアウト」をクリックしてログアウトができます。

【注文方法】



①ご注文教材の 카테고리を選択し、商品を選択します。

画面右上の虫眼鏡アイコンをクリックして、商品の検索も可能です。

②数量を選択し「カートに入れる」ボタンから商品をカートに追加します。

③ご注文に進む場合は「カートに進む」ボタンからカート画面に進みます。

④他の商品を選択する場合は、「お買い物を続ける」ボタンから商品一覧画面に戻ります。

⑤ショッピングカート内でも数量の変更ができます。

⑥商品左のチェックボックスにチェックを入れ、「削除」ボタンをクリックすると削除が可能です。

⑦「レジに進む」ボタンをクリックすると購入手続き画面に進みます。

【購入手続き（決済）】

レジ

① 配送先 〒151-0051 リトミック研究センター本部事務局 03-5786-0095 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-30-8 ダヴィンチ千駄ヶ谷 5階

② 配達希望日時 11月14日（金）

午前中

14:00～16:00

16:00～18:00

18:00～20:00



③ 支払方法 ☒ クレジット決済 (Stripe)

④ 注文内容

- リトミックセット3 x1
- 新カラーボード x1

商品個数 x2

小計（税別） ¥7,400

送料（税別） ¥800

ご請求額（税込） ¥9,020

Stripeで支払

- ①「配送先」に教材配送先住所が表示されます。
- ②配達希望日時の選択が可能です。
- タブを選択すると、指定可能な日時・時間が表示されます。
- 「指定しない」の場合
- 通常配送にて配送手配を行います。
- （平日18:00までのご注文：翌1～2営業日で出荷）

- ③注文内容を確認し「Stripeで支払」ボタンをクリックします。

ritomikkukenyusenta

Book

¥19,305

Apple Pay link

または

メールアドレス

支払い方法

④ カード

カード情報

1234 1234 1234 1234

MM (月) / YY (年) セキュリティコード

カード名義 (ローマ字)

氏名



支払い完了

ご購入ありがとうございます！

注文一覧を見る

お買い物を続ける

- ④カード情報を入力し「支払う」をクリックします。
- ⑤カード会社の案内に沿って、ワンタイムパスワード等を入力し、決済へ進みます。
- ※2回目からは、[link] が自動的に起動し、送られてくるワンタイムパスワード（6桁のコード）を入力すると決済が完了します。

- ⑥支払い完了画面が表示されます。

【その他の操作方法】



●注文履歴の確認

- ①右上葉っぱのアイコンをクリックします。
- ②メニューバーの「注文管理」をクリックすると注文履歴が表示されます。
- ③「ステータス」に現在の状況が表示されます。
決済エラー等で支払いが未完了の場合は「支払いへ」ボタンから決済が可能です。
- ④「詳細を見る」から状況を確認できます。

- ⑤「領収書」ボタンより、領収書の発行が可能です。
- ⑥「プリント」ボタンより、注文書の印刷が可能です。



●配送先住所の確認

- ①右上葉っぱのアイコンをクリックします。
 - ②メニューバーの「配送管理」をクリックすると住所の確認が可能です。
- ※教材配送先住所を変更する場合は、認定教室【変更届】のご提出が必要です。

5. 教室情報の変更がある場合

教室名、住所、電話などに変更がある場合は、事前に支局に相談のうえ、《インターフェース》内〔申請書・ダウンロード資料〕の「教室認定申請フォーム」から申請を行いましょう。

《インターフェースログイン方法》

下記のURLまたは右記のQRコードよりアクセスしてください。

<https://eurhythmics-classadministration.com/app/>

※操作方法の詳細はp.18をご覧ください。



インターフェース
ログイン画面

【教室変更届】

認定教室開設時に登録した情報から変更がある場合は、《インターフェース》内〔申請書・ダウンロード資料〕の「教室認定申請フォーム（変更届）」より必ず申請をお願いします。変更がある項目を入力し、送信すると申請完了です。支局・本部にて確認後、変更手続きを行います。

なお、「教室運営者変更」と「教室名変更による認定証・看板再発行」には費用が発生いたします。事前に支局へお問い合わせください。

【教室閉鎖届】

認定教室を閉鎖される場合は、事前に支局へご連絡のうえ、《インターフェース》内〔申請書・ダウンロード資料〕の「教室認定申請フォーム（閉鎖届）」より申請をお願いします。すべての項目を入力し、送信すると申請完了です。申請後速やかに、本部事務局あてに教室看板・認定証の返却をお願いします。

《教室看板・認定証 返却先》

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-8ダヴィンチ千駄ヶ谷5階

リトミック研究センター本部事務局 認定教室担当者宛て

TEL：03-5786-0095

※認定の停止、取り消しについて

次のような場合は認定を一時停止し、その後一年以内に改善が見られない場合は認定を取り消し、『教室認定証』と『教室看板』を返却していただく場合があります。

- ① 教室開設後2年を経ても、チャイルド会員の登録が無い。
- ② チャイルド会員の登録が無くなって、2年を経過した。

日常のレッスンにおいて大切なこと

「どんな子どももいろいろな抵抗を背負って生まれてくるものだ。われわれはよい教育によって、子どもの正常な発達を妨げている抵抗をひとつひとつ取り除いてやらねばならない」

～E・J＝ダルクローズ～

「どんな子どもも、才能を持っています。われわれは、その隠れた才能を引き出してあげなければなりません」

～板野 平先生～

1. 日常のレッスンにおいて大切なこと

・保護者とのコミュニケーション

保護者は、子どもを認定教室に通うことにさまざまな期待をもっています。できる限り時間を取り、一人ひとりの保護者と話し合しましょう。ここから信頼が生まれ、レッスンへの協力も得られるようになります。

・平等

どの生徒、どの保護者にも平等に接します。子どもにとっても、保護者にとっても、「私の先生」であってほしいと思っています。特定の保護者とだけ会話が多くなることのないよう、全体に配慮しましょう。

2. 年間の流れ

①最初のレッスン

レッスン開始にあたり、指導者のあいさつに加えて、「こどものためのリトミック」のレッスンの目的と目標について説明をしましょう。

②季節のイベント

レッスンに変化をもたせるため、季節のイベントを適宜工夫して採り入れてみましょう。また、支局が主催する教室運営者会に参加し、他の認定教室の情報を収集したり、支局長に相談をしましょう。



③発表会（年1回を目安）

1年の集大成として発表会をすることで、子どもの成長が感じられ、リトミック教育のすばらしさを実感し、さらなる意欲を持つことができるでしょう。支局または、認定教室合同の発表会などを企画して参加してもよいでしょう。

④次年度の進級に向けて

1月～2月頃から、次年度への進級に向けて準備をしましょう。

- ・レッスンの中で、次のStepの教具を見せながら、レッスンの内容を説明します。継続すると、どのようなことができるようになるかを具体的に説明しましょう。
- ・4月以降のレッスン時間表を作成し、時間帯が変わる場合は早めにご案内しましょう。園に通い始める子どもの時間帯に合わせてクラスを編成しましょう。
- ・次年度の進級ご案内のお手紙を出して、進級の確認・次のStepの曜日・時間帯・教具注文を受け付けるとスムーズです。

⑤その他

認定教室はリトミックだけでなく、ピアノなど、楽器のレッスンを並行して行うこともできます。リトミック修了後ピアノに進む生徒、リトミックとピアノの両方のレッスンを受ける生徒のニーズに対応しましょう。

3. おわりに

リトミックのレッスンはグループが基本です。3人グループの場合、子ども3人、保護者3人を相手に指導を行うことになります。ここが、ピアノなどの個人レッスンとは異なるところです。また、0～5歳児、特に新規の場合は0～2歳児が中心となりますから、子どもたちの反応も予想せぬことがたくさんあります。教室開講の前に、すでに開講している認定教室を見学（※）させてもらい、実際のレッスンを体験しておくことをお勧めします。

※認定教室の見学は、支局へご相談ください。

また、支局長や近隣の教室といつでも連絡や相談にのってもらえるようにしておいてください。1年間を乗り切ると、2年目からは新しい方の相談にのれるほど余裕ができてきます。子どもたちや保護者から学ぶこともたくさんあります。経験を重ね、よい指導者として活躍できるよう願っています。

体験レッスン例

1. ベビー

♪体験レッスンの前に

- ・教室環境を整えましょう。教室の床を清潔にし、子どもが触ったり口に入れたりすると危険なものは片づけましょう。
- ・家具の角にはプロテクトを設置し、おむつがえ、授乳場所などの配慮をしましょう。
- ・指導書「ベビーのためのリトミック～StepⅠの前に～」を熟読し、ベビーに関する注意事項を確認しましょう。
- ・ベビーはひと月ごとに発達が変わります。
保護者が発達の違いをポジティブにとらえられるように声がけをしましょう。
- ・体験レッスンは、個人でも複数でも可能です。
カリキュラムを基に人数によって時間配分などを調整しましょう。
- ・複数の場合は、個々のコミュニケーションが少なくなりがちですので、必ず一人ひとりと対話するよう心がけましょう。
- ・先生はやさしい笑顔で、子どもたちの目をしっかり見ながら、ゆっくり話しかけましょう。
- ・リトミック体験を楽しむためのポイントを伝えましょう。

例1：「まずは親子でリトミックを楽しんでくださいね！楽しむことこそが最大の教育効果です」
保護者の緊張を解いて和ませるとともに、リトミックはリラックスして楽しむことで初めて効果が表れることをお伝えしましょう。

例2：「無理強いせず、お子さまが楽しめるスタイルで参加してくださいね！抱っこでもあんよでもハイハイでもいいんですよ」
保護者が「やらせよう」とするとリトミックの効果が半減すること。子どものあるがままの姿が望ましいことをお伝えしましょう。

例3：「おうちの方はお子さまの安全基地。お子さまのご機嫌最優先で行動していただいて大丈夫ですよ」
リトミックは子どもの心に寄り添い伸ばす教育であることを伝え、保護者に安心してレッスンを受けていただきますように。

- ・体験レッスンの項目については、レッスン後に「課題のねらい」を説明しましょう。

指導項目	目的
1. ごあいさつ「はじめましょう またきてね」 p.12	・和やかな雰囲気作り
初めてのリトミックレッスン。笑顔でうたいながら和やかに進めます。先生はぬいぐるみを持って座り、保護者に先生の真似をしていただきながら、緊張を解いて行きましょう。	
2. 「おへんじ はーい」 p.13	・コミュニケーション
自己紹介を兼ねて、名前を呼びましょう。歌や動き、会話でコミュニケーションを深めます。	
3. おひざで活動「おうまの親子」 p.18	・即時反応の経験
親子で楽しくピアノの音を聴きながら、拍に乗る心地よさ・即時反応の楽しさを感じます。「拍」「即時反応」という言葉と意味、効果をお伝えしましょう。お座りが安定しないときは、首が振られないようにお腹に寄りかからせ、アクセントへの反応もやさしく静かに動かすように声かけをしましょう。	

指導項目	目的
4. 歩行を伴う活動「抱っこでお散歩」p.19	・ 視野の変化
抱っこをしてお部屋を歩きいろいろな活動をしなが、場所や人に徐々になじんでいきます。 その他p.17「あがりましょう さがりましょう」、p.20「たかーい ひくーい くるーん ゆーらん」等の活動を適宜加えてみましょう。	
5. クラフト・歌を使った活動例 10月②「どんぐりコロコロ」p.75	・ クラフトで五感を刺激する ・ 季節を感じる活動
「どんぐりころころ」の歌を使う活動では、「保護者の肉声でうたうことが子どもの安心感につながる」ことを伝えましょう。家庭でもうたっていただくことで、リトミックレッスンの振り返りにもなります。どんぐりグリグリでは、「小さい」「大きい」など、いろいろなニュアンスで経験しましょう。どんぐりマラカス(クラフト)では、子どもの反応を見ながら、どんぐりを見せ、音を聴かせます。見つめたり、どんぐりを持ちたがって手を伸ばしたりする行動はすべて、主体的・積極的参加です。「集中して見て聞いていますね」「興味を持って能動的に参加していますね」など、保護者に言葉で伝えましょう。スカーフや大布を池に見立てて活動しましょう。「ポチャーン」「かくれてかくれて」など、先生の動作や声を表情豊かに、楽しく行いましょう。	
6. ごあいさつ「はじめましょうまたきてね」p.12	・ 「楽しかった、また来たい」を目的に
「またきてね」の歌で締めくくります。「楽しかったな、また来たいな」という気持ちになっていただくことが入会につながります。子どもも保護者も先生も、笑顔で終了できるとよいですね。	

♪ レッスン後のフォロー

- 必ず一人ひとりに声をかけ、ひとつほめてあげましょう。レッスンの中で、見たり聴いたり、動いたりする行動はすべて、主体的・積極的参加です。「集中して見て聞いていましたね」「興味を持って能動的に参加していますね」など、保護者に言葉で伝えることが、リトミックの意義を伝えることにつながります。保護者によっては子どもの行動を「迷惑をかけた」と捉える方もいらっしゃるので、皆で活動を楽しみ合うことで互いに【主体性】、【協調性】が育まれていることを伝えましょう。
- リトミックについて/本日のレッスン内容のねらい/詳細(曜日、時間、回数、お月謝)など、説明をしましょう。
- 「ここに通えば、週に一回、子どもとしっかり関わることができ、親子の幸せな時間が味わえる」「先生が子どもや保護者にいつも寄り添ってくれる」と感じていただけるよう、優しく心を込めて対応しましょう。
- ベビーのリトミックの内容・教具の効果を説明しましょう。その際、Step5まで続けると、どのようなことが身につくのか、までお話しすると、リトミックの内容の濃さに関心を持っていただき、入会につながっていきます。
- 体験レッスン後の保護者の心に寄り添い、前向きな気持ちになる言葉をかけましょう。

例1：「うちの子は全然反応がなくて・・・」

リトミックは視覚、聴覚、触覚など、五感すべて、そして筋肉感覚に無意識下で働きかけています。一見反応がないように見えても、身体の内側ではたくさんを感じています。長く続けているうちに、「感じたこと」が蓄積され、「やってみたい」という意欲に繋がり、実際の「動作」につながっていきますよ。

例2：「ほかの子と比べて落ち着きがなくて迷惑をかけそうで・・・」

初めてのレッスンでは当たり前のことです。落ち着きがないのではなく、あらゆることに興味を持って好奇心旺盛、怖がることなく楽しめている証拠です。リトミックでは、視覚、聴覚、触覚に働きかけながら、お子さまの興味を惹く活動をたくさん行っていきますので、通っていただく、徐々に変化していけますよ。

- 「ぜひまたお待ちしております」と明るく声をかけて、お見送りをしましょう。

2. Step 1

♪体験レッスンの前に

- ・教室環境を整えましょう。教室の床を清潔にし、子どもが触ったり口に入れたりすると危険なものは片づけましょう。
- ・家具の角にはプロテクトを設置し、おむつがえ、授乳場所などの配慮もしましょう。
- ・指導書「こどものためのリトミックStep1」を熟読し、1歳児に関する注意事項を確認しましょう。
- ・1歳児は数か月ごとに発達が変わります。
保護者が発達の違いをポジティブにとらえられるように声かけをしましょう。
- ・体験レッスンは、個人でも複数でも可能です。
カリキュラムを基に人数によって時間配分などを調整しましょう。
- ・複数の場合は、個々のコミュニケーションが少なくなりがちですので、必ず一人ひとりと対話するよう心がけましょう。
- ・先生はやさしい笑顔で、子どもたちの目をしっかり見ながら、ゆっくり話しかけましょう。
- ・リトミック体験を楽しむためのポイントを伝えましょう。

例1：「まずは親子でリトミックを楽しんでくださいね！楽しむことこそが最大の教育効果です」
保護者の緊張を解いて和ませるとともに、リトミックはリラックスして楽しむことで初めて効果が表れることをお伝えしましょう。

例2：「無理強いせず、お子さまが楽しめるスタイルで参加してくださいね！抱っこでもあんよでもハイハイでもいいんですよ」
保護者が「やらせよう」とするとリトミックの効果が半減すること。子どものあるがままの姿が望ましいことをお伝えしましょう。

例3：「おうちの方はお子さまの安全基地。お子さまのご機嫌最優先で行動していただいて大丈夫ですよ」
リトミックは子どもの心に寄り添い伸ばす教育であることを伝え、保護者に安心してレッスンを受けていただきますよう。

- ・体験レッスンの項目については、レッスン後に「課題のねらい」を説明しましょう。

指導項目	目的
1. 「はじめましょう」 p.20	・ 和やかな雰囲気作り
初めてのリトミックレッスン。笑顔でうたいながら和やかに進めます。先生はぬいぐるみ等を持って座り、保護者に先生の真似をしていただきながら、緊張を解いていきましょう。	
2. 「いない いらない ばあ」 p.31	・ コミュニケーション
先生はカラーボード大で顔を隠して「いないいないばあ」をします。人見知りをする場合は、ぬいぐるみで行いましょう。	
3. 「おへんじ はい」 p.15	・ コミュニケーション
自己紹介を兼ねて、名前を呼びましょう。 1～3は座って行う活動が続くので、子どもを飽きさせず、長くならようにしましょう。	
4. 「おかあさんとおさんぽ（だっこ）」 p.24	・ 視野の変化 ・ 即時反応
お散歩は抱っこで行いますが、子どもの様子に合わせてあんよなどに変えてもよいでしょう。お部屋を歩き、いろいろな活動をしながら、場所や人に徐々になじんでいきます。	

指導項目	目的
5. 「おにぎりつくろう」 p.29	・ いろいろな速さ ・ 楽器に触れる（マラカス）
『おさんぽの一と』を見せたり、ボール、または丸めた白い紙などをおにぎりに見立てたりして活動します。できたら立って、歩きながらしてもよいでしょう。活動の終わりにマラカスを使って、ふりかけをかけてあげましょう。人数分のマラカスがあれば、子どもに一つずつ、持たせてあげましょう。	
6. 「ひよこのかくれんぼ」 p.32	・ 即時反応
『おさんぽえほん』または、ひよこのぬいぐるみなどを見せて活動します。保護者と子どもでひよこになって、「歩く」と「かくれる」を繰り返して楽しみましょう。マラカスを持ちながら行ってもよいでしょう。	
7. 「はじめましょう」 p.20	・ 「楽しかった、また来たい」を目的に
「またきてね」の歌で締めくくります。マラカスを持ったままでも行えます。「楽しかったな、また来たいな」という気持ちになっていただくことが入会につながります。子どもも保護者も先生も、笑顔で終了できるとよいですね。	

♪ レッスン後のフォロー

- ・ 必ず一人ひとりに声をかけ、ひとつほめてあげましょう。レッスンの中で、見たり聴いたり、動いたりする行動はすべて、主体的・積極的参加です。「集中して見て聞いていましたね」「興味を持って能動的に参加していますね」など、保護者に言葉で伝えることが、リトミックの意義を伝えることにつながります。保護者によっては子どもの行動を「迷惑をかけた」と捉える方もいらっしゃるので、皆で活動を楽しみ合うことで互いに【主体性】、【協調性】が育まれていることを伝えましょう。
- ・ リトミックについて/本日のレッスン内容のねらい/詳細(曜日、時間、回数、お月謝)など、説明をしましょう。
- ・ 「ここに通えば、週に一回、子どもとしっかり関わることができ、親子の幸せな時間が味わえる」「先生が子どもや保護者にいつも寄り添ってくれる」と感じていただけるよう、優しく心を込めて対応しましょう。
- ・ 改めて、Step 1 の内容・教具の効果の説明をしましょう。その際、Step 5 まで続けると、どのようなことが身につくのか、までお話しすると、リトミックの内容の濃さに関心を持っていただき、入会につながっていきます。
- ・ 体験レッスン後の保護者の心に寄り添い、前向きな気持ちになる言葉をかけましょう。

例 1 : 「うちの子は全然反応がなくて・・・」

リトミックは視覚、聴覚、触覚など、五感すべて、そして筋肉感覚に無意識下で働きかけています。一見反応がないように見えても、身体の内側ではたくさんを感じています。長く続けているうちに、「感じたこと」が蓄積され、「やってみたい」という意欲に繋がり、実際の「動作」につながっていきますよ。

例 2 : 「ほかの子と比べて落ち着きがなくて迷惑をかけそうで・・・」

初めてのレッスンでは当たり前のことです。落ち着きがないのではなく、あらゆることに興味を持って好奇心旺盛、怖がることなく楽しめている証拠です。リトミックでは、視覚、聴覚、触覚に働きかけながら、お子さまの興味を惹く活動をたくさん行っていきますので、通っていただくと、徐々に変化していけますよ。

- ・ 「ぜひまたお待ちしております」と明るく声をかけて、お見送りをしましょう。

3. Step 2

♪体験レッスンの前に

- ・教室環境を整えましょう。教室の床を清潔にし、子どもが触ったり口に入れたりすると危険なものは片づけましょう。
- ・家具の角にはプロテクトを設置しましょう。
- ・指導書「こどものためのリトミックStep2」を熟読し、2歳児に関する注意事項を確認しましょう。
- ・2歳児は個々の発達に違いがあります。
保護者が違いをポジティブにとらえられるように声かけしましょう。
- ・体験レッスンは、個人でも複数でも可能です。
カリキュラムを基に人数によって時間配分などを調整しましょう。
- ・複数の場合は、個々のコミュニケーションが少なくなりがちですので、必ず一人ひとりと対話するよう心がけましょう。
- ・先生はやさしい笑顔で、子どもたちの目をしっかり見ながら、ゆっくり話しかけましょう。
- ・リトミック体験を楽しむためのポイントを伝えましょう。

例1：「まずは親子でリトミックを楽しんでくださいね！楽しむことこそが最大の教育効果です」
保護者の緊張を解いて和ませるとともに、リトミックはリラックスして楽しむことで初めて効果が表れることをお伝えしましょう。

例2：「無理強いせず、お子さまが楽しめるスタイルで参加してくださいね！抱っこでもあんよでもゴロゴロしてもいいですよ」
保護者が「やらせよう」とするとリトミックの効果が半減することも。子どものあるがままの姿が望ましいことをお伝えしましょう。

例3：「おうちの方はお子さまの安全基地。お子さまのご機嫌最優先で行動していただいて大丈夫ですよ」
リトミックは子どもの心に寄り添い伸ばす教育であることを伝え、保護者に安心してレッスンを受けていただきましょう。

- ・体験レッスンの項目については、レッスン後に「課題のねらい」を説明しましょう。

指導項目	目的
1. 「はじめましょう」 (Step 1 指導書p.20)	・ 和やかな雰囲気作り
初めてのリトミックレッスン。笑顔でうたいながら和やかに進めます。先生はぬいぐるみ等を持って座り、保護者に先生の真似をしていただきながら、緊張を解いて行きましょう。	
2. 「おへんじ はーい」 (Step 1 指導書p.15)	・ コミュニケーション
自己紹介を兼ねて、名前を呼びましょう。	
3. 「ぶらぶらぽん」 (Step 2 指導書p.11)	・ テンポ ニュアンス
いろいろなニュアンスの声と動きを楽しみます。	
4. 「あたま はな みみー！」 (Step 2 指導書p.21)	・ 拍
いろいろな身体の部位をタッチします。	
5. 「おかあさんとおさんぽ」 (Step 2 指導書p.15)	・ リズム
保護者とおさんぽをしながら、いろいろな動きを楽しみます。	

指導項目	目的
6. 「トントントン！だーれかな？」 (Step2指導書p.12)	・ テンポ ニュアンス
「お散歩をしていたら、動物のお家につきました。誰がいるかな？」と言いながら、『おさんぽのーと』の絵などを見せて活動します。	
7. 「りすのおうち」 (Step2指導書p.17)	・ テンポ ニュアンス
「みんなはりすさんです。眠くなりました。おうちの方とねんねしようね」と言いながら、「おやすみりすちゃん」の活動に移行します。「かけっこ」と「おやすみ」を繰り返して楽しめます。	
8. 「パズルー1 (野菜)」 (Step2指導書p.11)	・ 静の活動を楽しむ
野菜のパズルを使って、野菜の紹介をします。床にパズルを置き、先生は「トマト」を持って見せながら「同じトマトはどこにありますか？」と聞きます。子どもはトマトを探します。先生はトマトを2つくっつけて並べ、「トマトとトマト。同じですね」と言い、「同じ」であることを伝えます。時間があれば、ほかの野菜でもみましょう。 そのあと、「トマトはトントントン」の歌をうたいながら、手遊びをしてもよいでしょう。	
9. 「はじめましょう」 (step1指導書p.20)	・ 「楽しかった、また来たい」を目的に
「またきてね」の歌で締めくくります。マラカスなど、音の出るものを持たせてもよいでしょう。「楽しかったな、また来たいな」という気持ちになっていただくことが入会につながります。子どもも保護者も先生も、笑顔で終了できるとよいですね。	

♪ レッスン後のフォロー

- 必ず一人ひとりに声をかけ、ひとつほめてあげましょう。レッスンの中で、見たり聴いたり、動いたりする行動はすべて、主体的・積極的参加です。「集中して見て聞いていましたね」「興味を持って能動的に参加していますね」など、保護者に言葉で伝えることが、リトミックの意義を伝えることにつながります。保護者によっては子どもの行動を「迷惑をかけた」と捉える方もいらっしゃるので、皆で活動を楽しみ合うことで互いに【主体性】【協調性】が育まれていることを伝えましょう。
- リトミックについて/本日のレッスン内容のねらい/詳細(曜日、時間、回数、お月謝等)等、説明をしましょう。
- 「ここに通えば、週に一回、子どもとしっかり関わることができ、親子の幸せな時間が味わえる」「先生が子どもや保護者にいつも寄り添ってくれる」と感じていただけるよう、優しく心を込めて対応しましょう。
- 改めて、Step2の内容・教具の効果の説明をしましょう。その際、Step5まで続けるとどのようなことが身につくのか、までお話しすると、リトミックの内容の濃さに関心を持っていただき、入会につながっていきます。
- 体験レッスン後の保護者の心に寄り添い、前向きな気持ちになる言葉をかけましょう。

例1：「うちの子は全然反応がなくて・・・」

リトミックは視覚、聴覚、触覚など、五感すべて、そして筋肉感覚に無意識下で働きかけています。一見反応がないように見えても、身体の内側ではたくさんを感じています。長く続けているうちに、「感じたこと」が蓄積され、「やってみたい」という意欲に繋がり、実際の「動作」につながっていきますよ。

例2：「ほかの子と比べて落ち着きがなくて迷惑をかけそうで・・・」

初めてのレッスンでは当たり前のことです。落ち着きがないのではなく、あらゆることに興味を持って好奇心旺盛、怖がることなく楽しめている証拠です。リトミックでは、視覚、聴覚、触覚に働きかけながら、お子さまの興味を惹く活動をたくさん行っていきますので、通っていただくと、徐々に変化していけますよ。

- 「ぜひまたお待ちしております」と明るく声をかけて、お見送りをしましょう。

4. Step 3

♪体験レッスンの前に

- ・教室環境を整えましょう。教室の床を清潔にしましょう。
- ・指導書「こどものためのリトミックStep3」を熟読し、3歳児に関する注意事項を確認しましょう。
- ・3歳児は個々の発達に違いがあります。
保護者が違いをポジティブにとらえられるように声かけしましょう。
- ・体験レッスンは、個人でも複数でも可能です。
カリキュラムを基に人数によって時間配分などを調整しましょう。
- ・複数の場合は、個々のコミュニケーションが少なくなりがちですので、必ず一人ひとりと対話するよう心がけましょう。
- ・先生はやさしい笑顔で、子どもたちの目をしっかり見ながら、ゆっくり話しかけましょう。
- ・リトミック体験を楽しむためのポイントを伝えましょう。

例1：「まずは親子でリトミックを楽しんでくださいね！楽しむことこそが最大の教育効果です」
保護者の緊張を解いて和ませるとともに、リトミックはリラックスして楽しむことで初めて効果が表れることをお伝えしましょう。

例2：「無理強いせず、お子さまが楽しめるスタイルで参加してくださいね！抱っこでもあんよでもゴロゴロしてもいいですよ」
保護者が「やらせよう」とするとリトミックの効果が半減することも。子どものあるがままの姿が望ましいことをお伝えしましょう。

例3：「おうちの方はお子さまの安全基地。お子さまのご機嫌最優先で行動していただいて大丈夫ですよ」
リトミックは子どもの心に寄り添い伸ばす教育であることを伝え、保護者に安心してレッスンを受けていただきましょう。

- ・体験レッスンの項目については、レッスン後に「課題のねらい」を説明しましょう。

指導項目	目的
1. 「こんにちは」 p.12	・ 音（速さ強さ高さ）（模唱）
先生は鉄琴など音の出る楽器を持って座り、レッスンを進めます。強く、弱く、速く、ゆっくりなど、いろいろなニュアンスでしましょう。保護者には、幼児は模倣することでさまざまな経験していくこと、模唱は音感を養うよい方法であることを伝えましょう。	
2. 「はいトン」 p.14	・ 拍 ・ 音 ・ 即時反応
その場に座り、音楽に合わせて保護者と手合わせをします。「♪ ♪♪ ♪（こんにちは）」とピアノが言ったら、「こんにちは」をします。「手合わせ」「こんにちは」を繰り返して楽しみます。保護者には、拍（beat）の活動はリズム感の基本となることを伝えましょう。	
3. 「かけあしドンすわれ」 p.13	・ 即時反応
ばんざいをして保護者と一緒に走りましょう。スピードが出すぎず、安全に走ることができます。	
4. 「おかあさんとおさんぽ」 p.17	・ リズム ・ 即時反応
保護者とおさんぽしながら、いろいろな動きを楽しみます。「手合わせ」「こんにちは」も入れて行いましょう。	

指導項目	目的
5. 「絵カード-1（生活）」 p.16	・ 拍と数 ・ 語彙の拡充
子どもと会話しながら、いろいろな道具を紹介します。保護者には、言葉を唱えながら手を打つことがリズム表現の基本となること、拍の数を感じ取りながら拍子感覚を養っていくことを伝えましょう。	
6. 「うさぎ・りす・ぞう」 p.23	・ リズム
『おさんぽのーと』の絵などを見せながら、動物の表現を楽しみます。	
7. 「ジャンポン」 p.22	・ リズム
6・7と動く活動が続くので、疲れの度合いを見ながら行いましょう。	
8. 「さよならあんころもち」 p.19	・ 「楽しかった、また来たい」を目的に
「あんころもち」の歌で締めくくります。「楽しかったな、また来たいな」という気持ちになっていたことが入会につながります。子どもも保護者も先生も、笑顔で終了できるとよいですね。	

♪ レッスン後のフォロー

- 必ず一人ひとりに声をかけ、ひとつほめてあげましょう。レッスンの中で、見たり聴いたり、動いたりする行動はすべて、主体的・積極的参加です。「集中して見て聞いていましたね」「興味を持って能動的に参加していますね」など、保護者に言葉で伝えることが、リトミックの意義を伝えることにつながります。保護者によっては子どもの行動を「迷惑をかけた」と捉える方もいらっしゃるので、皆で活動を楽しみ合うことで互いに【主体性】【協調性】が育まれていることを伝えましょう。
- リトミックについて/本日のレッスン内容のねらい/詳細(曜日、時間、回数、お月謝等)等、説明をしましょう。
- 「ここに通えば、週に一回、子どもとしっかり関わることができ、親子の幸せな時間が味わえる」「先生が子どもや保護者にいつも寄り添ってくれる」と感じていただけるよう、優しく心を込めて対応しましょう。
- 改めて、Step3の内容・教具の効果の説明をしましょう。その際、Step5まで続けるとどのようなことが身につくのか、までお話しすると、リトミックの内容の濃さに関心を持っていただき、入会につながっていきます。
- 体験レッスン後の保護者の心に寄り添い、前向きな気持ちになる言葉をかけましょう。

例1：「うちの子は全然反応がなくて・・・」

リトミックは視覚、聴覚、触覚など、五感すべて、そして筋肉感覚に無意識下で働きかけています。一見反応がないように見えても、身体の内側ではたくさんを感じています。長く続けているうちに、「感じたこと」が蓄積され、「やってみたい」という意欲に繋がり、実際の「動作」につながっていきますよ。

例2：「ほかの子と比べて落ち着きがなくて迷惑をかけそうで・・・」

初めてのレッスンでは当たり前のことです。落ち着きがないのではなく、あらゆることに興味を持って好奇心旺盛、怖がることなく楽しめている証拠です。リトミックでは、視覚、聴覚、触覚に働きかけながら、お子さまの興味を惹く活動をたくさん行っていきますので、通っていただくと、徐々に変化していけますよ。

- 「ぜひまたお待ちしております」と明るく声をかけて、お見送りをしましょう。

